

マルグヴェラシヴィリ大統領のウレキシ市リハビリテーションセンター訪問

7月16日、マルグヴェラシヴィリ大統領は、日本の草の根人間の安全保障無償資金協力により建設されたウレキシ市リハビリテーションセンターを訪問した。同センター長の案内でセンター内を視察。同センター長や専属医師は、センターの概要や日本との協力に関する状況を説明した後、大統領の質問に対し、日本との協力の経緯、受益者数やその出身・所属、治療に活用されているウレキシ独特のマグネティック・サンド（磁性砂）の医療効果等の詳細につき説明した。

マルグヴェラシヴィリ大統領によるスピーチ

我々は日本の援助によって建設されたウレキシ市のリハビリテーションセンターに来訪した。

日本政府はこのような方面で極めて積極的に活動している。ウレキシ市およびオズルゲティ市における、在グルジア日本国大使館による障害者への支援活動に対し、日本国大使に特別の感謝を述べたい。

グルジアでは、ウレキシにユニークな将来性があることが知られているが、それにはインフラの整備が必要である。インフラの整備はリハビリテーションのシステムを発展させるのみならず、グルジアの経済も発展させる。

私は日本の友人たちに心から感謝し、この美しい場所にいる子供達を歓迎したい。



（後立者）マルグヴェラシヴィリ大統領（中央）、ファースト・レディー（左端）、オズルゲティ市議会議長（右端）、本使（左から2人目）

日本政府による「草の根・人間の安全保障無償資金協力」によるウレキシ市リハビリテーションセンター建設計画

2012年9月25日、日本政府による「草の根・人間の安全保障無償資金協力」により実施されたウレキシ市リハビリテーションセンター建設計画に関するオープニングセレモニーがウレキシ市にて実施された。

上記計画の供与契約は、2011年11月8日、日本大使館とグルジア地域障害者連盟との間で締結された。本計画の目的は、ウレキシ市の障害者リハビリテーションセンターの建設により障害者に対する社会サービス環境を改善することである。予算総額は、108,411米ドルである。

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」は、NGOにより実施される比較的小規模な計画に対し資金を供与し、グルジア国民の生活水準を改善することを目的としている。公共の健康、教育、社会保障、環境、貧困削減分野における計画に適用される。1998年以降、グルジアにおいて日本政府より計139件、総額12,887,599米ドルの草の根・人間の安全保障無償資金協力計画に対し資金供与を行った。これまでの日本のグルジアに対するODAは、経済インフラの改善、農業および社会セクター、文化及び人材育成といった広い分野にわたり、3億6900万米ドル以上となる。

<改修前>



<改修後>

